



大杯で大酒を回し飲む

佐々木祭

志佐町池成地区に約370年前から伝わる「佐々木祭」が12月24日、池成公民館で行われました。池成地区には、平戸藩士でこの地を治めていた佐々木様が、参勤交代の留守中に妻の不義の噂を耳にし、大酒を飲むようになり亡くなったということです。

「佐々木祭」は、佐々木様に仕えた家臣の子孫が命日に集まって大杯で酒を飲む習わしで、家臣の子孫にあたる同地区4世帯で幹事を持ち回り毎年開催しています。この日、佐々木様の墓参りをした後、公民館に集まった人たちは、酒1升を大杯で3度回し飲みながら霊を慰めました。



積極的な協力と活動に感謝

総務大臣感謝状

選挙制度130周年の記念にあたり、松浦市明るい選挙推進協議会の山崎昭さん（志佐・里）に対し、総務大臣から多年にわたる明るい選挙推進に尽力されたとして、感謝状が贈られました。

山崎さんへの伝達は、1月4日に開催された松浦市成人式の中で選挙啓発活動を行ったあと、選挙管理委員・明るい選挙推進協議会委員が見守る中で行われました。山崎さんは、平成16年4月1日から松浦市明るい選挙推進協議会委員として16年間、現在は会長として活躍されています。

山崎さんから「今回の受賞は委員皆さんの積極的な活動と協力があったのもであり、今後も明るい選挙の啓発と推進を目指して頑張ります」と感謝と抱負が述べられました。



九州電力（株）松浦発電所2号機が営業運転開始

九州電力（株）松浦発電所2号機が、2019年（令和元年）12月20日に営業運転を開始しました。

1989年（平成元年）6月に運転開始した1号機に続いて、松浦市の経済活性化の柱の一つとして期待されていた2号機でしたが、電力需要が想定を下回る見込みであったことから2004年（平成16年）に一旦建設工事が中断されました。しかし、市民や関係団体の熱い思い、更には周辺地域の皆様のご理解によって、2016年（平成28年）1月に工事が再開され（出力を70万kwから100万kwに変更）、当初計画より6カ

月早く完成の運びとなりました。

この2号機は、1号機と同じく経済性に優れた石炭を使用していますが、最高水準の技術を採用することにより、1号機と比べて二酸化炭素排出量を5%削減し、排煙中の硫黄酸化物、窒素酸化物、ばいじんも低減しており、さらに再生可能エネルギーの出力変動にも柔軟に対応できる設備となっています。

今後も、私たちの生活に不可欠な電力の安全・安心な供給と、安定的な事業運営による地域への貢献が期待されています。



子どもたちが受け継ぐ伝統行事

もぐら打ち

家内安全や無病息災などを祈願する「もぐら打ち」が1月初旬、市内各地で行われました。

星鹿地区では1月6日、小中学生14人が集まり、約110戸を2班に分かれて回りました。語り継がれているもぐら打ちの掛け声（唄）は地域ごとに異なりますが、星鹿地区の子どもたちは、「祝いましょう、祝いましょう、祝のもちをくれたなら、祝うてどっさり福の神…」と大きな掛け声をかけながら、新わらで作った約80号のもぐら打ち棒を使って、玄関の床を元気いっぱい叩いていました。



北海道鷹栖町と交流を深める

ホークス交流事業

ホークス交流事業が1月4日から8日までの5日間行われ、市内小学校の児童6人が鷹栖町を訪問しました。

この事業は、気候や風土、生活習慣などが異なる地域での生活体験や交流を通して、郷土愛や広い視野をもつ青少年を育成することを目的に実施されています。

今回は、脇山颯汰さん（御厨小6年）、望月啓佑さん（志佐小6年）、磯田潤弥さん（調川小5年）、川浪蓮花さん（福島養源小6年）、川原穂乃香さん（福島養源小5年）、大石真菜さん（鷹島小5年）が参加しました。鷹栖町では、ホームステイや雪中交流会、スキー体験などを通して鷹栖町の皆さんと交流を深めました。



まちの未来を高校生たちが議場で提言

松浦高校と松浦市の協働教育活動「まつナビ」発表

松浦高校と市が連携して5月から取り組んできた地域課題解決教育プログラム「まつナビ」の成果発表が12月24日、市議会議場で行われました。

2年生101人が13班に分かれ、自分たちが暮らす地域の課題を見つけ、その解決のために何ができるのかを検討してきました。このうち校内発表の上位5班が発表に臨みました。

具体的な提案として、オリジナル動画作成で子育て支援等の認知度アップ、市民福祉総合プラザで世代間交流の催しを行う、まつドリー焼き（回転焼き）の販売で松浦市のPR、西九州道松浦IC付近に海のふるさと館のPR看板を設置、名刺や箸袋に松浦タータンの使用など、自分たちで到達目標を立て、フィールドワークなどを通じて課題解決を探り考えた政策アイデアを市長や市議らに提言しました。

質疑応答の場面では、市議から「情報発信の方法」や「資金の捻出方法」などの質問が投げかけられ、高校生たちは一つひとつ丁寧に答えていました。

各班のテーマは次のとおりです。（上位から記載）

- 1位 松浦タータンを活用し、松浦の魅力を知ってもらうためには（12班）
- 2位 Let's松浦の常連さん（2班）
- 3位 市役所周辺の施設を上手く活用して、松浦を活性化させるためには？（11班）
- 4位 世代を超えてつながろう（8班）
- 5位 子育て支援策について自分たちが知り、松浦にPR（9班）

